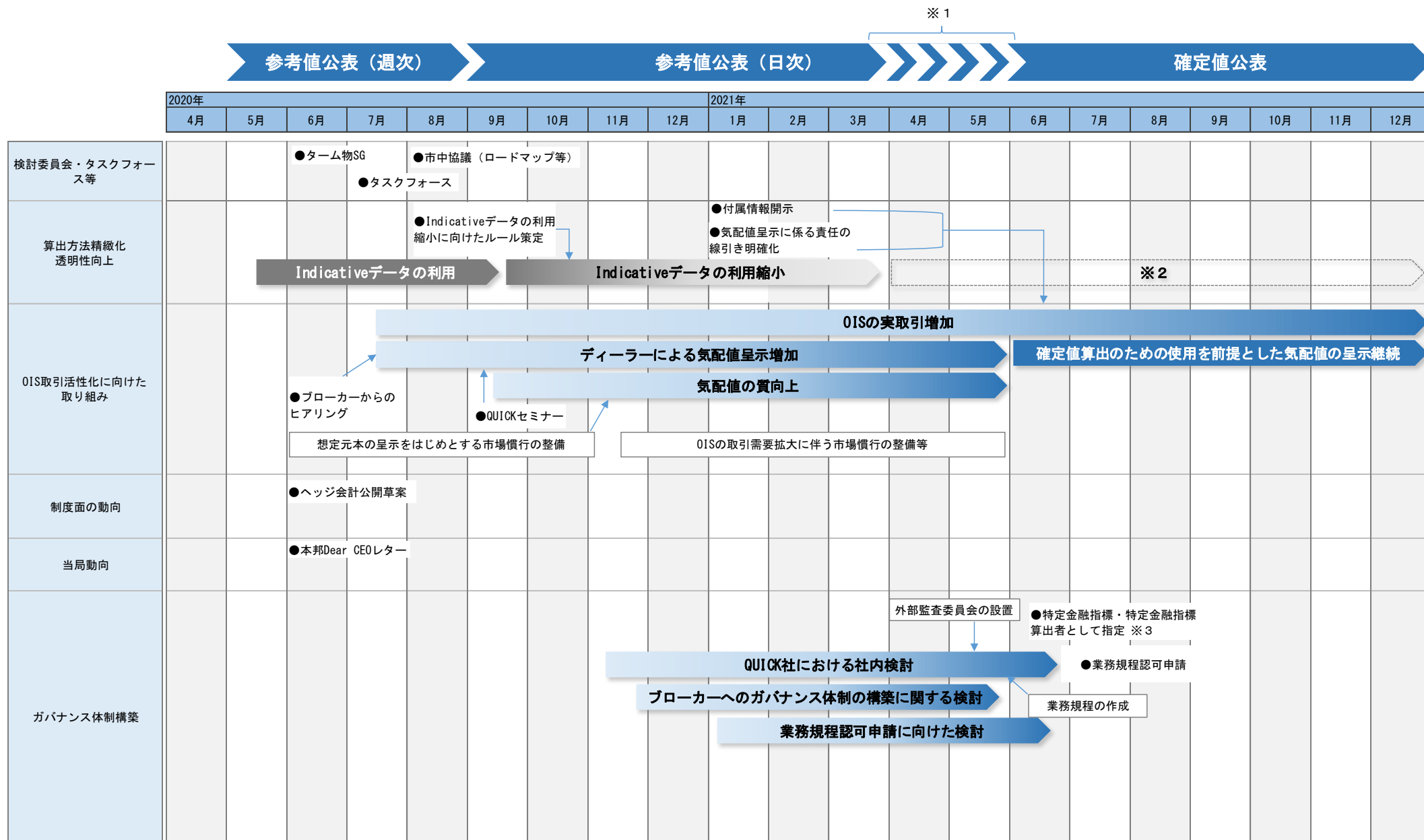


【資料5】 ターム物リスク・フリー・レートの確定値公表に向けたスケジュール



※1 遅くとも2021年半ばまでの確定値公表を目標としているが、前倒しでの公表も想定される。それに伴い、全体のスケジュールも線表対比早まることが想定される。

※2 原則として、システム障害や自然災害等の発生時等のバックストップとしての使用に限定することとなるか。

※3 欧州域内利用については、特定金融指標規制への対応と並行して進めていく予定。